

環境に配慮しながら、たんぱく質を届ける

ニッポンハムグループは、牛や豚、鶏をはじめとする生命を育み、生命の恵みをいただいて事業を行っている企業として、その基盤となる自然環境を保全し、資源の有効利用を進め、環境負荷低減に取り組むことが重要だと考えています。将来にわたって安定的にたんぱく質をお届けするために、当社グループが取り組む環境課題への対応を紹介します。



取り組み

01 CO₂削減

... P12

商品を製造する際に排出されるCO₂を削減するため、工場ではさまざまな工夫を取り入れています。

02 資源の有効利用

... P14

生産・飼育などで発生する副産物を有効に利用し、環境に配慮した畜産を実践しています。

03 プラスチック削減

... P16

プラスチックごみを削減するため、「シャウエッセン®」をはじめとした商品包装の見直しに取り組んでいます。

01 CO₂削減 製造工場での取り組み

ニッポンハムグループの工場では、製造過程で排出されるCO₂を削減するため、さまざまな方法で省エネに取り組んでいます。商品ができるまでにどのような工夫が行われているのか、工場をのぞいてみましょう！

(注)P.12-13のイラストは、当社グループのさまざまな工場で行っている施策をまとめて示したイメージです。

冷凍機の更新

冷凍機をエネルギー消費効率のよい最新の機器に入れ替えることで、電気使用量の削減を進めています。

LED照明

グループの国内事業所の自社物件を対象に、事業所内の照明を、消費電力が少なく寿命の長いLEDへ順次切り替えています。

設備のエネルギー 使用量削減

生産性の高い設備を導入して生産能力の向上を図ったり、凍結庫や冷蔵庫の庫内温度を最適化するなどして、エネルギーの使用量を削減しています。

エア漏れ箇所の特定

工場では、商品の製造や包装の際に、機械を動かすため圧縮空気(エア)を使用しています。エアが漏れるとエネルギーロスにつながるため、エアの漏れている箇所を検出できる機械を使用し、適宜補修しています。

従業員インタビュー

検知器を活用しエア漏れを発見しています。

当工場では、おもにグループ主力商品である、「シャウエッセン®」や業務用商品を生産しています。どの生産ラインも大型・小型の機械の組み合わせで構成されており、大変多くのエネルギーを使用しています。その中で、目視では見つけないエア漏れを発見できる検知器は大変役立っています。業務効率化の観点からも非常に有効です。

日本ハムファクトリー株式会社 茨城工場 技術管理課 植木 寿明



01 CO₂削減 製造工場での取り組み

CO₂排出の少ない燃料への転換

工場でボイラーに使う燃料を、重油からCO₂排出量の少ないガス燃料に転換しています。また加工食品の製造過程で排出される廃油を燃料とする廃油ボイラーも導入しています。

太陽光発電

事業所の敷地内や屋根を利用して太陽光パネルの設置を進めています。2023年3月現在で24カ所の拠点で稼働しており、今後も事業所外に設置するオフサイト型も含め導入を推進していきます。

車両の電動化

ガソリンを使用する営業用途車両をハイブリッド車両へと順次切り替えています。さらに、電気自動車への切り替えを検証するほか、トラックについてもハイブリッドトラックの導入を開始しています。

輸送の効率化

物流拠点では、積載効率や輸送ルートを見直し、輸送効率を向上させることで、輸送に係るCO₂排出量の削減に取り組んでいます。

モーダルシフト

トラックなどの貨物輸送を、CO₂排出量の少ない鉄道や船舶に転換しています。モーダルシフトは、「物流の2024年問題」で言われている人手不足の解消にも効果があります。

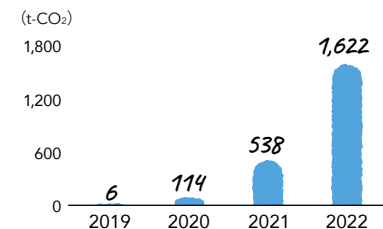
エアーコンプレッサーの 廃熱利用

圧縮空気を作る際に機器から発生する熱は今まで捨てられていました。廃熱回収コンプレッサーを導入し、この熱を利用して温水をつくりボイラーに給水することで、ボイラーの燃料使用量を削減しています。

データで見る

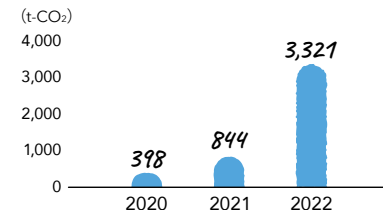
省エネへの取り組み

太陽光発電導入による CO₂削減量※

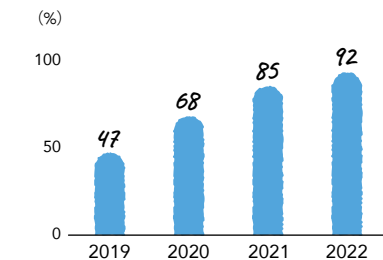


※太陽光導入拠点の電力供給会社の排出係数に基づき算出

重油からガス燃料への転換による CO₂削減量



ハイブリッド車への切り替え率※



※ガソリンを使用する営業用途車両が対象

02 資源の有効利用

資源を活かす食肉生産の取り組み

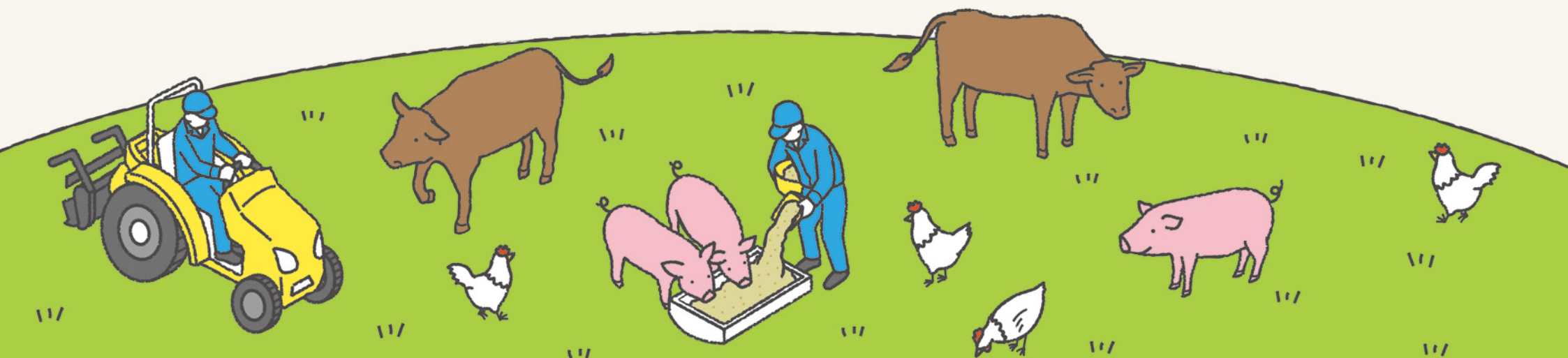
地球という大きな自然の恵みを大切に活かす

実は、ニッポンハムグループの売上高の62.9%を占めるのが食肉事業です。日本では、国内の食肉販売量の約5分の1に当たります。これらの事業の源泉は地球という大きな自然の恵みと、さまざまな生命の恵みです。だからこそ当社グループは生命の恵みを余すことなく使い切り、自然の恵み、豊かな自然、良好な環境を守るため、限りある資源を大切に活かし、持続可能な社会の実現に取り組んでいます。

牛肉・豚肉・鶏肉を処理加工する過程で発生する骨や皮などの副産物から、ラーメンのスープ、たれやソースなどのエキス調味料、コラーゲンなどの機能性素材を抽出して商品化し、生命の恵みを無駄にせず最後まで大切にしています。また、家畜の排せつ物は、燃料利用や有機肥料などの原料としても有効に活用しています。



約 $\frac{1}{5}$ の量
国内の食肉販売量の
グループ売上のうち食肉は
62.9%
(2023年3月期現在)



02 資源の有効利用 資源を活かす食肉生産の取り組み

地域の飼料生産農家や野菜農家と協力することで、国内飼料自給率の向上や畜産業の環境負荷低減に取り組んでいます。

北海道産鶏肉



飼料の一部に北海道産の玄米を使用。

鶏の農場から出る鶏ふんは道内の野菜農家に提供し、野菜づくりに使われています。
地産地消することで、運搬にかかる環境負荷の削減や、地域貢献につながっています。



北海道産玄米を
飼料の一部に



鶏ふんを肥料へ



北海道内の
野菜農家へ



従業員インタビュー

東日本フード株式会社
北海道第一事業部
札幌営業部 量販一課
大田黒 太揮



「北のこめっこ®」の特長を伝え、
さらに普及させていきたいです。

「北のこめっこ®」は餌にこだわったニッポンハムグループの新銘柄鶏肉として評価いただいておりますが、北海道内の飼料メーカーや野菜農家とニッポンハムグループの「共創ネットワーク」を通じた新しい取り組みをしているという点も、今後はもっと伝えていきたいと感じています。食肉リーディングカンパニーとしての使命感を持ち、今後も持続可能な食肉事業を目指し、取り組んでいきます。

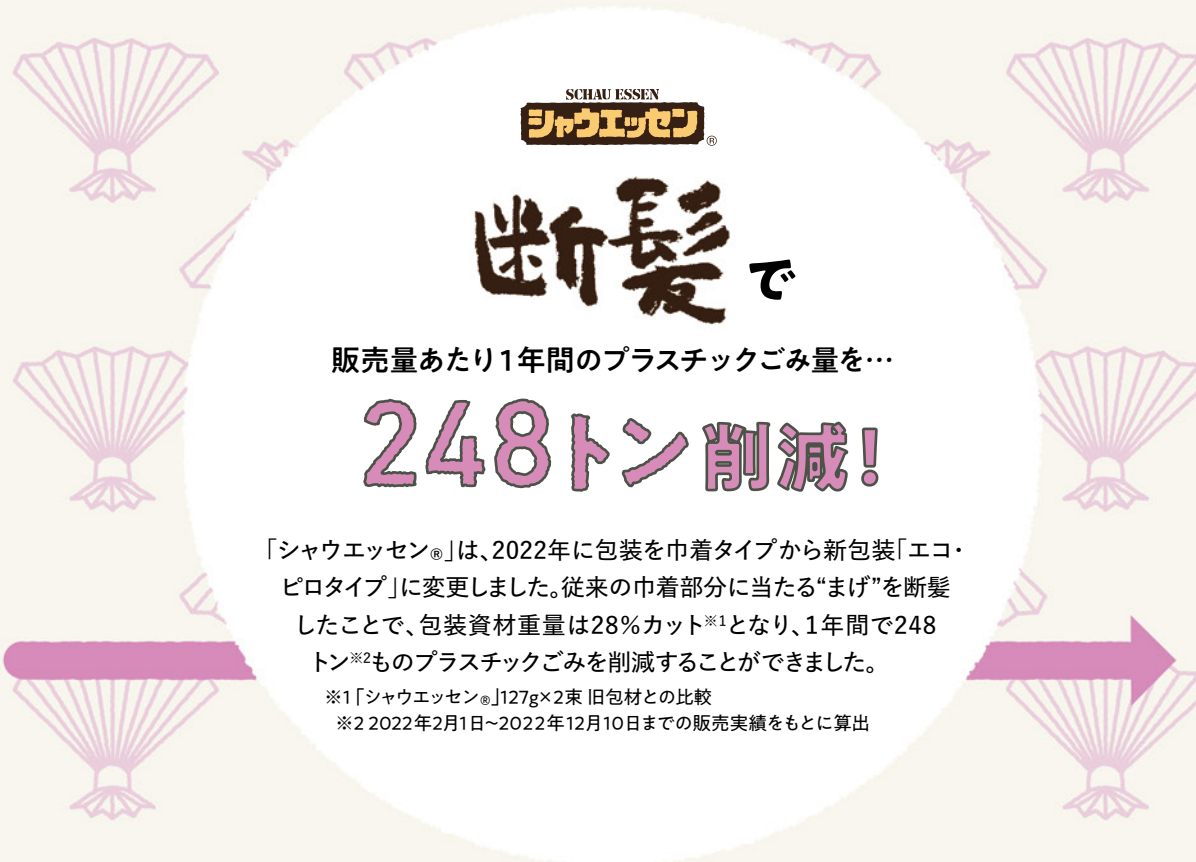
国産豚肉「麦小町®」の 資源循環への取り組み

グループ会社が保有する北海道内の畑で栽培した小麦を、飼料メーカーと協力して飼料にし、豚へ給餌。養豚場で発生したふん尿は肥料へ加工して畑へ散布し、資源循環に努めています。

(注)一部農場のみ実施



03 プラスチック削減 パッケージ変更でプラスチック使用量削減



プラスチックごみ問題

世界で年間約800万トンものプラスチックごみが海に流れ込んでいると言われています※。海に流れ込み漂うプラスチックごみは、海の生きものたちに大きな影響を与えています。また波や紫外線によって碎かれ細くなったプラスチックを海の生きものが食べ、それを鳥類や動物が食べることで食物連鎖を通しての影響も懸念されています。

※出典：WORLD ECONOMIC FORUM(2016)

テープの幅もカット!

さらなるプラスチック削減を目指し、主力ソーセージ商品「 Schau Essen®」 「豊潤」 「ウイニー」 「森の薫り®」は、販売の際に2袋を束ねるバンドルテープの縦幅も18mmから15mmに縮小しました。



03 プラスチック削減 パッケージ変更でプラスチック使用量削減

「中華名菜®」

ノントレイでプラスチックごみ量削減

「中華名菜®」シリーズの一部では、商品を支えるために入れていたトレイをなくし、半年間で包材のプラスチック使用量を19.3%、重量にして約111トン※削減しました。(旧包材との比較)

※酢豚、八宝菜、青椒肉絲、回鍋肉4品の2022年10月1日～2023年3月31日の販売実績をもとに算出



トレイをなくして
111トン
削減!



TOPICS

紙包材の削減にも取り組んでいます

ハムのギフト商品「美ノ国」では、箱に商品をきれいに並べる従来の詰め方から、商品を重ねる詰め方に変更し、化粧箱の紙使用量を約40%削減しました。(旧化粧箱との比較)



チルド飲料

バイオマスポリエチレンを 配合したストローへ

「のむバニラヨーグルト」「とろけるラッシー マンゴー」「生きて腸まで届く乳酸菌 グリーンスムージー」などのすべての自社工場製造飲料は、付属のストローを通常のプラスチックから、環境に配慮してつくられたバイオマスポリエチレンを5%使用したストローへ変更しました。バイオマスポリエチレンとは、原料にサトウキビを使用した植物由来の樹脂のことです。サトウキビは光合成によりCO₂を吸収するため、バイオマスポリエチレンが焼却される際のCO₂排出量をゼロと考えることができます。



「Isey SKYR(イーセイ スキル)」 プラスチックから紙へ

「Isey SKYR(イーセイ スキル)」シリーズは、2022年3月に容器を紙へ変更したことにより、包材のプラスチック使用量を約94%削減しました。(旧包材との比較)

